

# 令和5年度 授業改善推進プラン（4年生）

令和5年8月31日

昭島市立中神小学校

教科	観点	現状と課題	具体的な授業改善策
国語	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生までに習った漢字の習得が十分ではない児童がいる。文章の中で漢字を使うことができない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の言語活動を通して語彙を増やしたり、日常的に国語辞典で言葉の意味を調べる習慣を付けたりする。</li> <li>・日常的に漢字を使って文章を書くように指導していく。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら読む力が付いてきた。</li> <li>・段落相互の関係に着目しながら、説明的文章を読み取ったり、叙述に基づいて心情や情景を読み取り、より深く考察することができる児童が多い。一方で、文章を読むので精一杯で、段落相互の関係を捉えたり、心情を深く考えたりするのが難しい児童も若干名いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事な部分にサイドラインを引いたり、読み取る際のポイントを抑えたり、児童同士で考える時間を確保したりすることで、読み取るための方法や要約する方法を身に付けられるようにする。</li> <li>・児童が考えをもてるような発問や仕掛けを教員側が吟味し、誰もが分かるように指導を工夫していく。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書が好きな児童が多く、空いた時間に集中して本を読んでいる。</li> <li>・興味のある本が人によって偏っている。</li> <li>・漢字の学習に意欲的でない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習している内容に合うような本や、児童の関心を広げられるような本を随時紹介し、幅広い分野の本への興味関心を高められるようにしていく。</li> <li>・児童同士が問題を出し合う取り組みを行い、漢字を覚えたい、そのために練習したいと思えるようにしていく。</li> </ul>
社会	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み取りについて、統計やグラフの読み方がしっかりできない児童がいる。</li> <li>・東京都の地理的環境の概要を理解できていない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計やグラフの読みとり、地図の読み方等指導する。</li> <li>・単元を問わず、地図帳に触れる機会を増やす。東京都の地理的環境と関連付けて説明をするなどの工夫をする。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料同士を関連付けたり、比較したりして、資料から言えることや気づきを考えることが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から分かることと言えることの違いを明確に示していく。</li> <li>・様々なパターンの資料を扱い、資料を読み取る際のポイントを身に付けさせる。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なことと関連付け、問題意識をもったり、調べようとしたりする意欲が高い。</li> <li>・自分の考えを絵や文を使って表現する活動に意欲的に取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童がこれまでの経験から考えを想起できるよう、身近な問題を取り上げるようにする。</li> <li>・導入を工夫したり、児童の考えから学習問題を作ったりし、児童の興味関心をひく。</li> </ul>

算数	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな数では、「5億の1/10」などの問題では、一つ前の位がいくつになるのか混乱してしまう児童がいる。</li> <li>3桁×2桁の筆算ができない。</li> <li>わり算の筆算ができない児童多数。商を立てられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識・技能の課題に関しては3分チャレンジなや朝学習の時間などで繰り返し演習を行い、基礎基本の定着を図る。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>わり算の筆算では、2桁÷1桁と、2桁÷2桁の計算で、商を立てる位で迷う児童が多くいる。</li> <li>180°より大きい角度を書いたり読んだりすることが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わり算の筆算は4年生通年の課題と考える。繰り返し計算練習をする。</li> <li>補助線を引く意味など思考が重要となる時間では児童が納得できるような作業づくりを心掛ける。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題に対して向き合う姿勢はある。</li> <li>課題が児童の能力に対して難しいと意欲の継続が難しい児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の実態に応じて課題の難易度を調節する。</li> </ul>
理科	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートや記録用紙にまとめることができる。</li> <li>学習直後は知識の定着が見られるが、学期末の確認テストでは定着が下がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項をくじラーニングや家庭学習で繰り返し学習させ、長期的な定着を図る。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や観察に対して意欲は高いが、その結果について考察したり、まとめたりする段階になると、自分の考えではなく他の児童の考えが出されるまで待つてしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科のノートの書き方や記録の仕方、まとめ方の指導を行い、特に、実験から考察を書かせる指導を積み重ねさせたい。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や観察等、興味関心は強い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その時間の実験や観察の目的をはっきりと意識させる。また、課題に対する予想や理由を考えるよう指導する。</li> </ul>
音楽	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱では、正しい発声で歌うことができる児童が多いが、のどに力を入れて無理に声を出して歌う児童が数名いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時活動での発声練習の際、近くで一緒に歌ったり、出来ている児童の歌を聴いたりするなどしながら、正しい声の出し方を身に付けていく。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの思いや意図もちながら、旋律やリズムアンサンブルをつくることができる。</li> <li>様々な音楽活動や楽器に興味をもち、意欲的に活動に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくった旋律の発表時に、どのような思いでつくったのかを言葉で伝える場面も取り入れていく。</li> <li>歌唱やリコーダーの活動以外にも、小物打楽器などを使用した簡単なリズム打ち等の楽しめる様々な音楽活動を適宜入れていく。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">図画工作</p>	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで材料や用具の特徴に合わせて形づくることができる。彫刻刀の扱いにも作品づくりが進むにしたがって徐々に上手くなった。</li> <li>・制作に思い切りがあり、失敗を恐れずに様々なアイデアを試すことができる児童もいる反面、自分で決められず手が止まってしまう児童もいる。</li> <li>・作品づくりだけでなく、準備や片付けなども自分から進んで取り組むことのできる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な道具を使い際には注意点を抑える必要があるが、端的にわかりやすい言葉で指導する。</li> <li>・個に合った指導をするために、児童が作品づくりの時に考えていることや発想を、積極的にコミュニケーションを図ることによって把握する。</li> <li>・主体的に取り組む態度を育むために、楽しく学べる活動を継続して行っていく。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">体育</p>	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の差が激しい。</li> <li>・友達の運動の工夫に気付いたり、友達の良さを自己の練習に取り入れたり、自身に合った場を選んで練習したりする児童が多い。</li> <li>・体を動かすことが好きな児童が多く、様々な技に挑戦したり意欲的にチームで作戦を立てたりする様子が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる児童ができていない児童に対して適切なアドバイスができるよう、教師の声掛けや学習カードを工夫する。(運動のコツなどを載せるなど)</li> <li>・自分の課題を克服できるように、場の設定の工夫や、学習カードやグルーピングなどを工夫する。</li> <li>・自分のめあてを達成するために友達の活動を見て学ぶことやアドバイスをし合うことの良さに気付かせる。</li> <li>・運動経験の不足を補うべく、ゲームや遊びを授業以外にも取り入れる。</li> <li>・友達と協力したり、体を動かしたりすることの楽しさを感じさせ、成功体験を積み重ねるようにする。</li> </ul>